



世界各地で発生する難民や自然災害などに対する各国の人道支援の中で、医療面ではAMDA(アムダ)アジア医師連絡協議会(本部・岡山市)の活動が注目

AMDA代表

菅波 茂

されている。そこで、菅波茂AMDA代表に、地球規模で展開している活動状況などを紹介してもらった。

支援活動の合間に、サンビアの現地の子どもたちと記念写真に収まるAMDAの菅波代表(一九九六年)

# 人道医療は 国境を越えて

世界に広がるAMDAの活躍

理念・目的

## 民間からの戦争の抑止力に

世界の人たちが共有できる価値観は、「家族のきょうの生活、家族の明日の希望」である。平和とはその実現である。この平和を妨(さまた)げるものとして

「太平洋戦争写真展」で見たい一枚の写真である。南方戦線で浅瀬に顔を半分うずめて死んでいた同世代の日本兵だった。なぜ、彼は故郷を遠く離れて死ななければならなかったのか。太平洋戦争とは何だったのか。

「戦争と平和」は常に私の思考の主なテーマの一つになった。AMDAの活動を通しての「戦争の抑止と平和の創出」が願いである。

「困った時はお互いさ

ま」。AMDAは一九八四年の発足以来、「相互扶助」を人道援助の大原則としている。現在、海外十八カ国に支部があり、国内に約千五百人、海外に約三百人の会員がいる。さらに、モンゴル、スリランカ、ボスニア、ポリビアなどでも加盟が準備されている。「世界中みんなお友だち」

「太平洋戦争写真展」で見たい一枚の写真である。南方戦線で浅瀬に顔を半分うずめて死んでいた同世代の日本兵だった。なぜ、彼は故郷を遠く離れて死ななければならなかったのか。太平洋戦争とは何だったのか。

「戦争と平和」は常に私の思考の主なテーマの一つになった。AMDAの活動を通しての「戦争の抑止と平和の創出」が願いである。

「困った時はお互いさ

ま」。AMDAは一九八四年の発足以来、「相互扶助」を人道援助の大原則としている。現在、海外十八カ国に支部があり、国内に約千五百人、海外に約三百人の会員がいる。さらに、モンゴル、スリランカ、ボスニア、ポリビアなどでも加盟が準備されている。「世界中みんなお友だち」

トなどである。プロジェクトにより、相互理解、相互支援、相互信頼が生まれる。「相互信頼による民間からの戦争の抑止力」がAMDAの目的である。

AMDAの理念の原点は、私が高校二年生の時に

「困った時はお互いさ

ま」。AMDAは一九八四年の発足以来、「相互扶助」を人道援助の大原則としている。現在、海外十八カ国に支部があり、国内に約千五百人、海外に約三百人の会員がいる。さらに、モンゴル、スリランカ、ボスニア、ポリビアなどでも加盟が準備されている。「世界中みんなお友だち」

トなどである。プロジェクトにより、相互理解、相互支援、相互信頼が生まれる。「相互信頼による民間からの戦争の抑止力」がAMDAの目的である。

トなどである。プロジェクトにより、相互理解、相互支援、相互信頼が生まれる。「相互信頼による民間からの戦争の抑止力」がAMDAの目的である。

国内千500人、海外300人の会員

難民や自然災害の被害者に対する緊急人道援助活動に加えて、貧困に対する活動もアジア、アフリカ、ラテンアメリカで開始した。「必要とされる所にはどこにでも行く」。これがAMDAの合言葉である。「速」